

2050年の建築分野を考える連続シンポジウム

第3回

「予見されてきた《大転換》が本格化する時代」 ～市街地・まちづくり視点から～

2050年を見据えた建築分野の中長期的な方向性について
市街地・まちづくりの視点から考えます。

日 時:令和8年 9 月 7 日(月)
14時～16時40分(開場 13時)

会 場:アキバホール
(東京都千代田区神田練堀町3富士ソフトアキバプラザ5F)

プログラム(予定):

14:00 趣旨説明

14:10 基調講演:

「市街地を豊かな空間、豊かな時間で満たすために
～2050年の市街地環境～」

中井 検裕 氏 東京科学大学 特命教授/名誉教授

入場無料

事前申込制

先着180名
(現地参加の場合)



15:10 パネルディスカッション: パネリスト(五十音順)

有田 智一 氏 筑波大学 システム情報系社会工学域 教授(モデレーター)

越 直美 氏 三浦法律事務所 弁護士(元 大津市長)

清水 義次 氏 株式会社リノベリング 代表取締役

中山 靖史 氏 独立行政法人 都市再生機構 理事

Jorge Almazan 氏 慶応義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授

※その他調整中

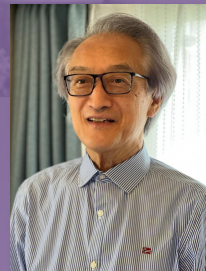
16:40 終了



有田 智一 氏



越 直美 氏



清水 義次 氏



中山 靖史 氏



Jorge Almazan 氏

開催方法

現地・オンラインハイブリッド開催(無料/要事前申し込み)

聴講を希望される方は、下記URL又は右記QRコードより、事前申込をお願いいたします。

URL:<https://www.j-reform.com/event/symposium2026/>



共
後

催:国土交通省・一般社団法人住宅リフォーム推進協議会

援:(一社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(一社)JBN・全国工務店協会、
全国建設労働組合総連合、(一社)住宅生産団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(公社)日本建築家協会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会

登壇者プロフィール(五十音順)



有田 智一 氏：筑波大学 システム情報系社会工学域 教授

筑波大学システム情報系社会工学域教授。東京大学工学部建築学科卒業、同大学院修了後、建設省(現国土交通省)、建築研究所、国土技術政策総合研究所などを経て筑波大学へ。ペンシルベニア大学でPh.D.を取得。2012年より現職。都市計画、公民連携による都市再生などを専門とし、国内外の都市政策や土地利用計画制度の研究に取り組む。著書『協働型都市開発—国際比較による新たな潮流と展望』など。国や自治体の審議会委員も多数務める。



越 直美 氏：三浦法律事務所 弁護士(元 大津市長)

滋賀県大津市出身。北海道大学大学院修了後、西村あさひ法律事務所に入所。ハーバード・ロースクール修了。2012年に大津市長へ就任し、2期8年にわたり待機児童解消や行政改革に尽力した。現在は、三浦法律事務所弁護士として公民連携分野に注力するとともに、OnBoard株式会社CEOとして女性役員の育成・紹介を行う。著書に『公民連携まちづくりの実践—公共資産の活用とスマートシティ』。日本・ニューヨーク州・カリフォルニア州弁護士。



清水 義次 氏：株式会社リノベーション 代表取締役

1949年山梨県生まれ。都市・地域再生プロデューサー。マーケティングコンサルタントを経て1992年にアフタヌーンソサエティを設立し、2019年より株式会社リノベーション代表取締役を務める。遊休不動産を活用した「リノベーションまちづくり」の提唱者として知られ、北九州市小倉、岩手県紫波町オガールプロジェクトなど全国各地の再生事業を主導。行政と民間をつなぐ公民連携の先駆者として高い評価を受ける。著書に『リノベーションまちづくり—不動産事業でまちを再生する方法』など。



中井 検裕 氏：東京科学大学 特命教授/名誉教授

1958年大阪府生まれ。東京工業大学大学院退学後、ロンドン大学、東京大学等を経て1994年東京工業大学助教授、2002年から同大学教授。2023年から東京科学大学特命教授・名誉教授。都市計画、特に土地利用計画、景観デザイン、都市再開発を専門とし、日本の都市計画研究を牽引してきた。博士(工学)。日本都市計画学会会長、国土交通省社会資本整備審議会委員、東京都景観審議会会長なども歴任。著書に『都市計画の構造転換』復興・陸前高田—ゼロからのまちづくり』など。



中山 靖史 氏：独立行政法人 都市再生機構 理事

1966年東京都生まれ。1989年東京大学工学部都市工学科卒業、同年住宅・都市整備公団入社。東雲地区開発事業、大手町地区連鎖型都市再生事業、虎ノ門二丁目地区市街地再開発事業などの都市再生事業に長年携わり、事業企画室長、東日本都市再生本部長を経て、2024年より現職。大都市再生から地方都市のまちづくり支援まで幅広いプロジェクトを統括し、官民連携や都市開発、プレイスメイキングの推進に取り組む。国土交通省今後の市街地整備のあり方に関する検討会委員、建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会・検討会委員。



Jorge Almazan 氏：慶応義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授

スペイン出身の建築家・都市研究者。マドリッド工科大学卒業・修了後、東京工業大学で博士号を取得。建築設計と都市研究を融合した実践的な研究で知られ、コミュニティ形成や公共空間活用をテーマに国内外で活動する。研究室「Studiolab」を主宰し、地域再生や参加型デザインプロジェクトを多数展開。著書『Emergent Tokyo: Designing the Spontaneous City(東京の創発的アーバニズム)』は国際的にも高く評価されている。

<会場アクセス>

〒101-0022
東京都千代田区神田練堀町3
富士ソフトアキバプラザ 5F
TEL:050-3000-2741
FAX:03-5209-5261

- ・JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- ・つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- ・東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

